

路面電車がはしる風景

早良区内の路面電車の歴史は、北筑軌道が明治43年に今川橋ー加布里間の営業運行を開始した時にさかのぼります。紅葉八幡宮は、現在の西新パレス一帯にありましたが、電車が境内を横切り、静粛さが失われてしまったため、大正2年に現在の地に遷宮されました。



国道202号紅葉八幡宮鳥居あたり 昭和初期



福岡市内線の母体は、福博電気軌道と博多電気軌道です。この2社は明治末期、別々に路面電車を開通させ市内の路線網を拡大させていきましたが、昭和9年に福博電車に統合され、昭和17年に西日本鉄道が誕生しました。

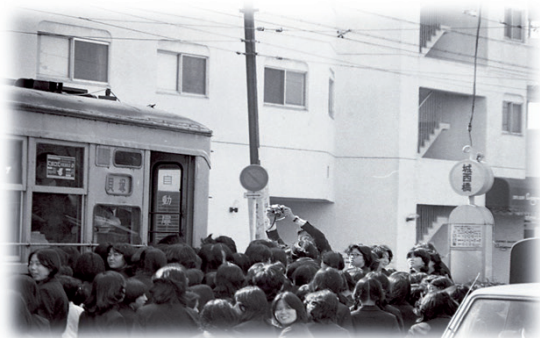


市内線・貫線西新付近★ 昭和27年



最後の花電車・藤崎付近★ 昭和50年11月

花電車は西鉄の前身会社である福博電気軌道(株)や九州電気軌道(株)などが、路線の開通式やその他の祝事に際して運行したという記録が残っています。戦後間もない昭和21年に「どんたく」が復活し、昭和22年5月3日には、日本国憲法の施行を祝う花電車が運行され、昭和24年には「どんたく」での花電車運行が始まっています。福岡市内線廃止を目前にした昭和50年11月、「さよなら花電車」が特別運行され、長い歴史に幕を下ろしました。



さよなら西鉄市内線・城西橋電停★

西鉄福岡市内線は、昭和50年11月1日の運転をもって貫線、呉服町線、城南線が廃止されました。



城西橋電停★ 昭和50年

路面電車がはしる風景



室見電停付近★ 昭和50年



室見から藤崎方面を臨む



西新にあった旧西鉄本社★ 昭和47年



現ドンキホーテ付近



現西新4丁目バス停付近★ 昭和50年



西新中央商店街付近



西新4丁目交差点(現プラリバ前)★ 昭和50年



路上にあった西新電停(現プラリバ前)★ 昭和48年